



石と火打ち金を打ち合わせ火をおこす

自分の力で実際に火おこし体験 わくわく科学教室を開催

町は10月29日、ふれあい会館で第2回わくわく科学教室「あかりの科学パート2」を開催しました。

これは、さまざまな実験を通して科学の不思議さにふれ、親しみを持ってもらうことを目的に行われたもので、今回は町内の小学生19人がライターやマッチといった火を付ける道具の仕組みについて学習しました。

子どもたちは火をおこすためには石と石を打ち合わせても火がおこるわけではなく、火打ち金が必要という説明を受けた後、保護者と一緒に、石と火打ち金で火花を飛ばし、コットンに火をつける、「火おこし」に挑戦していました。

Town topics
10/29

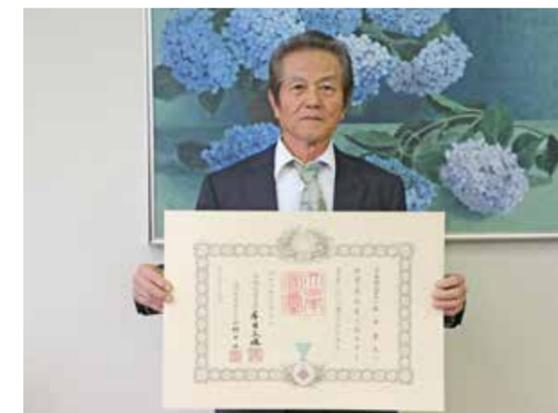
消防団員として地域安全のために尽力 赤井席夫さんに瑞宝単光章

元紀宝町消防団副団長の赤井席夫さんが令和4年秋の叙勲において、瑞宝単光章を受章され、11月4日、町役場で伝達式が行われました。

赤井さんは昭和46年4月に鶴殿村消防団に入団以来、48年の長きにわたり消防業務や地域の防火意識の高揚などに努められたほか、現場での活動以外にも、団員募集や人材育成にも精励されました。

赤井さんは受章に際し、「最高の章をいただけたのは、消防団員のみなさんと、家族の理解と協力のおかげです。感謝しています」と話していました。

Town topics
11/4



伝達を受けた赤井さん

元気いっぱい自然とふれあう

園児たちがサツマイモ掘りを体験

うどの幼稚園と鶴殿保育所は、10月26日、町内の畑において、今年の6月に植えたサツマイモの収穫を行いました。

これは収穫の喜びを味わうことや農作物の成長の変化に気づくことなどを目的に行われているものです。

うどの幼稚園の園児40人と鶴殿保育所の4歳児17人は、元気いっぱい土をかき分け、大きく育ったサツマイモを協力しながら掘り起こし、「でっかいの見つけた」「いっぱいとれた」と歓声をあげ、笑顔を見せていました。

作業後には、昭和時代に製造された石窯で焼いた焼きイモをおいしそうに食べていました。

Town topics
10/26



01. サツマイモ掘りを行う園児たち。02. 焼きイモを食べる園児たち。



地域医療を学べるまちを目指して

相野谷診療所に研修センターを開設

町が町立相野谷診療所に設置した紀宝町地域医療研修センター「KITCHEN」の開設式が10月28日、町役場で行われました。

「地域医療を学べるまち紀宝町」をスローガンに、医学生・研修医の受け入れ、講演会や研修会、町民への学びの普及を通して、町全体で地域医療を充実させていくことが目的です。

開設式には、センター長の相野谷診療所の森本真之助所長、副センター長のくまのなる在宅診療所の濱口政也院長、および脳神経外科医・脳卒中専門医の角谷美帆医師のほか、町内医療機関、高齢者介護施設・事業所の関係者が出席しました。

今後、人生100年時代の超高齢化社会に求められる地域医療に携わる人材確保や、地域包括ケアシステムの発展と充実、在宅医療の推進などに取り組んでいきます。



01



01. 開設式に参加された方々。02. 事業説明を行う森本センター長。

Town topics
10/28

地域住民のつながり作り

大里で竹あかりイベントを開催

大里竹あかり実行委員会は10月30日、大里親水公園で、第2回大里竹あかりを開催しました。

同実行委員会が住民が集い、楽しめる場になればとの想いで、昨年からは開催されているものです。

会場では、昼間に竹あかりの製作体験が行われ、親子らが実行委員会の方に作り方を教わりながら挑戦しました。

ステージでは、地元有志によるカラオケやオカリナの演奏、紀州舞踊隊によるダンス、熊野水軍太鼓による演奏などが会場を盛り上げました。

また、炊き込みご飯と豚汁が振る舞われ、来場者は体を温めながら、竹あかりの幻想的な光りや演奏を楽しんでいました。

Town topics
10/30



竹あかりを前に演奏する「熊野水軍太鼓」

熊野速玉大社例大祭「御船祭」 諸手船が神幸船を先導する

熊野速玉大社例大祭の御船祭が10月16日、同神社と熊野川で行われました。今年は3年ぶりに早船競漕が開催され、早船に続き鳥止野神社総代会の管理する諸手船が神幸船を先導しました。

諸手船は古くから、御船祭で神霊をのせた神幸船を導く大役を務めています。赤い衣装に身を包んだアタガイウチが、神霊を導く動きを表した「ハリハリ踊り」を舞いながら、御船島を3周して、対岸にある御旅所へ神幸船を導きました。

Town topics
10/16



神幸船を先導する諸手船